

ごあいさつ

理事長

しんや たかのり

新屋 貴憲



日頃より、皆さまには格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
新型コロナウイルス問題が顕在化して、1年以上の時が経過しました。この間、多くの方々が新型コロナウイルスと戦いそして向き合いながら、感染拡大の防止と収束に向けて懸命に取り組んでおられます。感染された皆さまには、心よりお見舞いを申し上げますと共に、医療従事者の方々をはじめ介護関連従事者等の皆さまのご奮闘に当組合を代表して敬意を表します。当組合も感染拡大防止と早期収束に向けて地域企業の一員として最大限に努力してまいります。また、ワクチン接種が早く・広く・多くの方に届きますことを切に願っております。

さて、当組合は、「地域発展の原動力である勤労者・生活者に寄添い、生涯に亘る支援を！」を信条に、お客さまとの絆を育み、心の通った事業活動を役職員が一丸となって取り組んで参りました。現下の厳しい環境の中でも多くの方々とのご縁を紡ぎ、地域への貢献と一定の経営成果を収めることが出来ましたことは、偏に皆さまの温かいご支援とご理解の賜ものと心より深く感謝申し上げます。

ここに、令和3年3月期の経営概況を「りょうしんの現況2021」として取りまとめましたので、是非ご高覧のうえ、これからもより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

コロナ禍は経済活動にも日常生活においても大きな影響を与え、これまで気づかなかった多くの課題や問題が露呈しました。高齢者の介護の在り方や少子化の加速、貧富の格差拡大、児童虐待や子供の貧困、人としてのモラル等々、コロナ禍以前には気づかなかった事象・現象が一層顕著になってまいりました。国内経済も、多額の財政負担やエネルギー政策の転換、デジタルイノベーション等々、これまでと違う方向へと舵を取るなど改革が進められております。この様な変革の時は、地域で暮らす皆さまにその負担が重く迫ってくるもので、すでにこのコロナ禍であらゆる世代や職業の方々のご苦勞をされております。この様な時こそ、“相互扶助の精神”に立脚した協同組織金融機関である信用組合の果たすべき役割と期待は大きいものであり、私たちがしっかりとその期待に応える取り組みが重要となってまいります。これからもお客さまにしっかりと寄り添い課題・問題の解決に尽力し、将来不安の払拭と地域活力の向上に向けて役職員が一丸となって真摯に事業に取り組んでまいりますので、末永い皆さまのご支援・ご愛顧を心よりお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

2021年7月

役員紹介

(2021年7月1日現在)

常勤理事・常勤監事



常勤理事 永石 浩 理事長 新屋 貴憲 常務理事 堀 清隆 常勤監事 深井 修

理事・監事

理事 寺脇 克典(※) 理事 久保 菊雄(※) 理事 尾崎真太郎(※)
 理事 上野 栄夫(※) 理事 梅原 慎一(※) 理事 関本 士朗(※)

監事 林 修治 監事 福永 砂織

●当組は、職員出身者以外の理事(※印)の経営参画により、ガバナンスの向上や組合員の意見の多面的な反映に努めています。

組織図

(2021年7月1日現在)

